

第3部

基本計画

第3次糸魚川市総合計画



重点項目 健康

● 重点項目の具体的な取組

● 高齢者の保健事業と介護予防の一体化

生活習慣や加齢に伴う慢性疾患の重症化予防と高齢者の虚弱状態(フレイル)の予防を図るため、健(検)診受診勧奨と個別支援に取り組むとともに、「フレイル予防教室」を実施し、積極的に予防に取り組む意識の醸成を図り、健康寿命の延伸につなげます。

● 健康ポイント制度の導入

健康的な生活習慣の定着と積極的なフレイル予防のため、運動習慣や健康意識の醸成のためのインセンティブとして、地域通貨制度と連動した健康ポイント制度を導入します。

● 高度医療のサテライトセンター

医師・看護師の確保と合わせて、診療科目の高度化、専門化を図り、ネットワークで地域の医療を維持していく必要があり、大学病院や医師会などの協力の下、一体となって取り組みます。

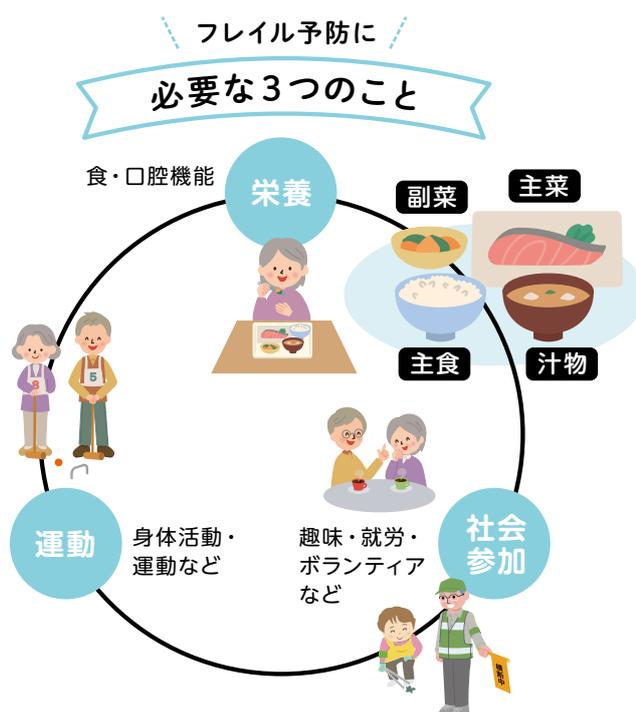
● 医師の働き方改革に伴う遠隔診療や訪問診療の充実

令和6年(2024年)からの医師の働き方改革に向けて、医療機関における診療業務の効率化のほか遠隔診療や訪問診療など、新たな診療方法や診療体制の構築について支援を行います。



フレイル予防は日々の習慣と結びついています。「運動」、「社会参加」、「栄養」を見直し、生き生きとした毎日を送りましょう!

フレイルであることに早めに気づいて、適切な対策をとれば、元の状態にもどることもできますよ!



重点項目 地域経済

● 重点項目の具体的な取組

● 公民連携プラットフォーム

行政が行う仕事の中で継続的に市外の民間企業に委託している事業を、「市内で受託できないか」、「何が課題となっているのか」を官民一体となって協議する場を設け、経済の市内循環の流れを構築します。

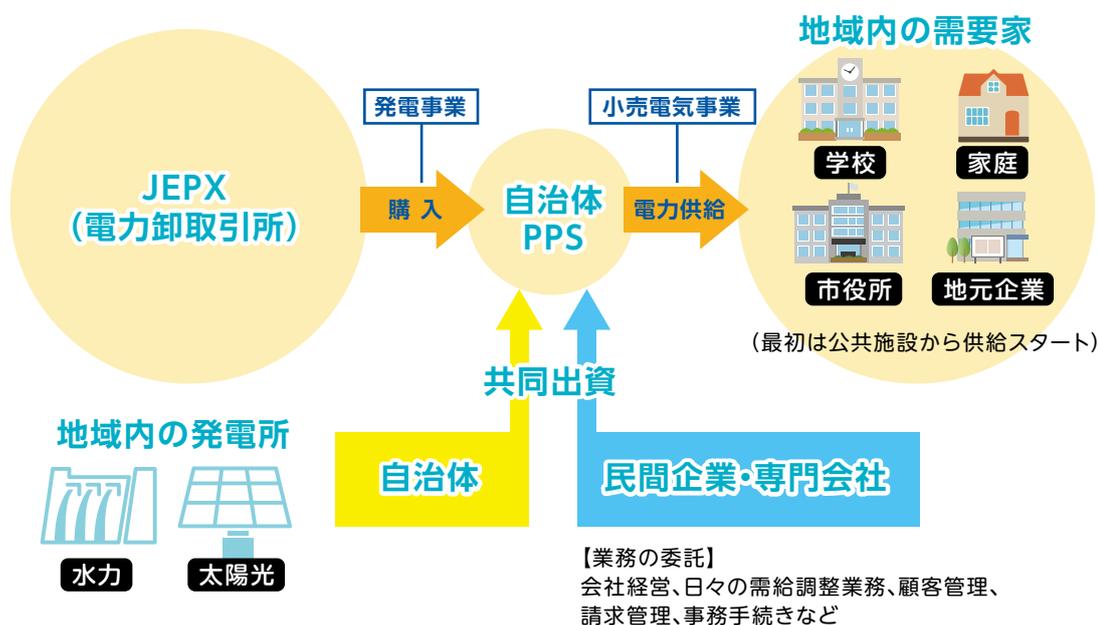
● 再生可能エネルギーを活用したエネルギーの地産地消の実現

再生可能エネルギーを活用した自治体新電力会社を設立し、エネルギーの地産地消の仕組みを構築します。

● マイナンバーカードを活用した電子地域通貨制度の導入

市内経済の循環のほか、健康ポイントとの連動など、様々な施策との連動を図れるようマイナンバーカードと連動した電子地域通貨制度を導入します。

自治体新電力事業のイメージ



重点項目 地域経済

● 重点項目の具体的な取組

● CCRC※¹の実現に向けた取組

介護施設などの需要増や首都圏などでの危機意識を背景に、都市部の元気な高齢者を地方に呼び込むため、本市の交通の利便性や自然の魅力を活かしてアプローチし、アクティブシニアの首都圏から地方への流れを生み出します。

● 森林資源を活用した首都圏との連携事業の実現

首都圏自治体では、森林環境譲与税を公共施設等の木材利用や子どもたちの森林教育へ活用していますが、この森林教育のフィールドを本市の森林でできないか、首都圏自治体との連携について模索し、交流人口、関係人口の拡大につなげます。

● 働き方改革によるテレワーク、ワーケーションの誘致

コワーキングスペース※²やサテライトオフィスの設置などテレワーク環境を整備し、関心を示す企業等と市内企業との関係性を構築するとともに、移住定住や企業誘致にもつなげることができるよう取り組みます。



※1 CCRC：自立可能な高齢者が必要に応じて介護・医療などのサービスを受けながら持続的に共同生活する仕組み

※2 コワーキングスペース：独立して働く人々が共同利用しながら働く事務所

重点項目 教育

● 重点項目の具体的な取組

● 0歳から18歳までの一貫教育の推進と社会の変化に対応した人材育成

これまでの取組を継続するとともに、子どもたちが未来において生き生きと活躍できるよう、GIGAスクール構想によるICT教育や小学校からの英語教育など、環境の変化に対応した教育を推進し、人材の育成に努めます。

● 高校の魅力化

学校や地域、産業界との連携をさらに深め、就職を希望する子どもたちには、目指す職種の知識や資格取得への支援を行うほか、進学を希望する子どもたちには、新たな受験方法に対応した学習のサポートや公営塾による学習支援など、各学校の魅力をさらに伸ばすとともに、子どもたちの将来を見据えた取組を展開します。

● 看護師等養成学校・看護師等養成所設立に向けた検討

市内医療関係者との連携を図る中で、看護師等養成学校・看護師等養成所の設立について検討を進めるとともに、地元を離れた子どもたちとのつながりを作り、Uターンにつながるよう進めます。



キャリアフェスティバルいといがわ